

7/29 3.7.9

健康保険証存続して

保団連が国に要望書

全国保険医団体連合会（住江義男会長）は26日、全国であつたマイナ保険証のトラブル全般把握と根本原因の解明、再発防止を求める要望書を厚生労働省に提出しました。

千葉県で健康保険証の券面とオンライン資格確認システム上のデータ表示が異なる事例が発覚した件について、「單なる職員のトラブル」では説明がつかず、制度の根幹にかかわる原因解明、再発防止策

部分で瑕疵（かし）が生じている」と指摘。保団連の調査では、少なくとも17都府県で健康保険証の券面と異なる窓口負担割合が表示されているとしている。機関で窓口負担割合の相違のトラブルが生じていることは容易に想像できる」と述べています。

この構築▽システム運用の一時停止▽健康保険証を残すことなどを求めました。